

●**藤田カヌー前社長藤田清氏をしのぶ会開かれる** 里山の会から山村常務理事と太田理事が出席 4月に不慮の死を遂げられた前社長の藤田清氏をしのぶ会が10月2日カヌー普及協会の下で、愛好家など100人を超える参加者の下で開催されました。中笠置町長さんをはじめ4名の来賓の挨拶等があり、11時30分からカヌー100艇を連ねて銭司浜まで川下りが行われました。藤田清氏は里山の会の「親子花見体験」にカヌーを無償で貸していただき、多くの参加者、特に子供たちに楽しみ方が得られる良い機会を提供いただきました。心からのご冥福をお祈りしたいと思います。



●**竹蛇籠製作講習会の開催迫る** 初日10月10日(月) スポーツの日 午前9時から12時まで 午後自由時間

場所：京都市右京区嵯峨柳田町、嵯峨美術大学前。桂川左岸河川敷広場(渡月橋と松尾橋の間) 駐車場有

参加方法：メールでの事前申し込み fddb257@ybb.ne.jp、住所、氏名、年齢、電話、参加日を記入のこと

開催予定日：初日10月10日、二日目10月15日、三日目10月16日、の3日間

作業内容：竹蛇籠6本を編み上げます 見本あり 形状：直径45cm 長さ5mもの とても大きいものです
幅45mmで7mの竹を細工します(広い場所が必要です)

持参物：作業が可能な服装、軍手、帽子、マスク、手ぬぐい、水筒、作業ができる靴、参加費無料

これまでは木津川で自分たちが使用するものを製作してきましたが、今度は「保津川漁協」さんが主催で実行されますので、里山の会は講師役としての指導になります。これまでは気楽に取り組んできましたが、初めて応援に駆けつけてこられた皆さんと一緒に苦労しなければなりませんので、これまで以上に難しいことになりそうです。普及啓発のための新しい苦労が始まることになりそうです。これまで参加されたか方々の応援をいただけるようお願いします。

●**9月30日に木津川出張所から竹蛇籠製作用の真竹50本が納入されました。**前の日の29日の午後にお藪(木津川市)で今年使用する真竹100本に切り出して運んでいただけるようにマークを付けていただきました。農水省の管轄のものと国交省の管理しているところが隣接しているので境界線を越えないようにと木津川出張所の所長さんたちが立ち会っていただきました。今年は特にその境界線を守るようにと厳しく連絡がされていました。必要な数量をまっすぐ成長している良い姿のものを選び出せるか不安がありましたが、森島さんや有田さん太田さん播川さんたちが手分けをして選び出していただきました。翌日の15時には納入するとの業者からの連絡で連日世話をいただいている森島さんが受取納入を確認いただきました。また30日の午前中に大村理事長が納入場所玉水橋東詰めの道路下のカルバートBOX付近の葛などの繁茂しているところを綺麗に除草していただきました。また竹の選出しの後、時間があることから皆さんが竹割機を運ぶためのクレーンを軽自動車に取り付けて運搬を完了して、いつでも竹割り作業ができるように準備を整えていただきました。これで10日を初日とする桂川での竹蛇籠製作講習会の準備が整ったことになります。ここは雨天でも作業が展開できるので力強い場所なのです。



●**会誌53号の原稿募集中です。**原稿締め切りは10月15日となっていますのでご協力をお願いします。現在10月2日の状況は会員の皆さんの思いをお寄せいただく仲間の広場にはご意見が届いていません。この夏は平和問題や物価問題、国論を二分した国葬問題、異常な気象現象、北朝鮮のミサイル発射問題等話題に事欠かない時ではありませんか。今里山の会の皆さんの多くが高齢になっておられて大変な時期になっていると感じてお

られると思います。一言ぜひお願いします。とくにウクライナ戦争は、二度と広島や長崎の惨禍を繰り返してはいけないうとしている被爆国民として声を大きくする時ではないでしょうか。皆さんの小さな声が大切だと思います。よろしくお願いいたします。

●**桂川での竹蛇簞製作講習会のための里山の会の準備**は10月7日9時30分・玉水橋カルバートBOXで竹割作業を実行します。ご協力をお願いします。できれば一番難しいところの底辺部を組み上げる予定をしています。多くの皆さんのご参加をお願いいたします。

●**京都市文化財保護課の福富様から現状について連絡をいただきました。**概要をお知らせします。

◎大阪府生物多様性センター（寝屋川市）の見解

京都水族館への繁殖用（展示も可）個体の譲渡は、絶滅のリスクにもなるので可能である。

木津川放流予定地での生息環境が、今の時点ではまだ安定しているとは言えないと認識している。

木津川への放流については学識経験者の間では疑問視する意見がある。

◎京都水族館の見解

希少な生物を野生に戻す補助についても積極的に貢献したい。

イタセンパラの飼育経験がないので情報を集めて万全の体制で迎えたい。

◎京都市文化財保護課の見解

イタセンパラは国の天然記念物に指定されており個体の移動には文化庁の許可が必要。

種の保存法の国内希少野生動植物種に指定されているから環境省の許可が必要。

京都府の自然環境保全課は木津川への放流には多種の意見があるので、随時相談に乗るとのこと。

以上の通り、現状について各種団体の見解をお伝え下さり、課題や問題点をお知らせいただき有難うございました。里山の会として随分整理していただき、見通しが立ってきたように見えました。福富様、有難うございました。

●**仁枝（前河川レンジャー）さんを偲ぶ会**が10月23日（土）18：00に長岡京市駅前のバンビオで開催されます。会費は1500円です。仁枝さんには木津川マラソンが桂川沿川で大会が終日開催されているので自転車通行控えの「予告看板」を20か所毎回自転車で設置と撤去の協力をいただいてきました。

●**京の川の恵みを活かす会主催のフォーラム**が10月23日9時30分に京都大学宇治川ラボラトリーで開催
また、天然アユなどの食味会も同場所で10月30日11：00から開催されます。参加費3000円 申し込み必要

●**藤田清さんをしのんで 里山の会の常務理事 山村武正**

25年間植物を中心に活動しています。又琵琶湖・淀川流域圏連携交流会で上流下流の連携を図ろうと頑張っています。こうした取り組みの中で藤田さんに出会いました。そこで高木公三郎教授と出会って自由に持ち運びができる艇の研究に取り組んで、改良に改良を重ねてこられました。そして木津川の自然を大変愛してこられました。良く話をされていたのはカヌーで野崎参りのところへ行ったことが自慢話で得意顔が目につかびます。そして高木公三郎先生とのカヌー改良の取り組みが自慢話でした。それで、なんとしてでも記念碑を創りたいとの相談が出されました。

私たちの山城地域では、カヌーに乗る機会はほとんどないのです。田辺高校の西側に馬坂川があって府下でも大きな団地ができて、天井川が切り下げられ、桜が植樹され、30年が経過したら、立派な桜並木ができました。この川を利用して「親子花見乗船体験」を14回も開いてきました。摂南大学のエコシビル部の学生が船頭になって楽しいひと時を作り出しています。この時10人乗りのEボートに加え、藤田カヌーからカヌーをお借りして子どもたちにカヌーに触れていただいています。この取り組みに社長自からが出てきてご指導をいただきました。

そんなことが重なって記念碑を2013年に里山の会がみんなで力を合わせて記念碑の建立が出来ました。そして近畿各地から来られた多くのカヌー愛好家によって大阪湾まで3日のカヌーのツアーが3年連続で実現できました。三回目は木津川は松尾芭蕉、淀川は一寸法師、桂川は後醍醐天皇の衣装で大阪湾まで下りました。

これは上流から下流までの交流連携が不十分なので、次は淀川の北の原点高時川から、あるいはすべての淀川の原点から出発して大阪湾まで下ればと思います。そしてそれは数日を要しますので、年間の参加者を世界中から募集して、取り組めればいいなあ、という夢を持っています。参加費40万円くらいでどうでしょうか。その時が私を天国で待っていてくれる藤田清さんへの手土産にできたらいいなあ、と思っています。